

【放送文化基金賞】RKK 開局 70 周年記念特別番組 ななまるテレビ
「今日、解決はしないけど。—熊本で生きるわたしたちのテレビ—」が
エンターテインメント部門で奨励賞

2024 年 7 月 16 日 リリース

株式会社熊本放送（本社：熊本市中央区、代表取締役社長・坂口洋一郎、略称 RKK）が制作した、RKK 開局 70 周年記念特別番組 ななまるテレビ「今日、解決はしないけど。—熊本で生きるわたしたちのテレビ—」が、第 50 回放送文化基金賞において奨励賞を受賞しました。

この番組は、複雑化、多様化する社会の流れの中で、実はついていけないことや、腑に落ちていないこと—そんなもやもやについて、RKK アナウンサーがゲストとともに「答えを出さずに」考える 1 時間のトーク番組です。

番組では、これまで女性の生理についての話題を避けてきた 50 代の男性タレントをゲストに招き、生理をめぐるコミュニケーションの難しさについて話し合いました。

また、番組の企画・演出を手掛けた松田望（RKK）が、企画賞を受賞し W 受賞となりました。

【放送文化基金賞 選考の理由】

すぐに解決策や答えが求められる現代において、あえて「解決しない」「答えを出さない」という姿勢を貫くことは実は難しい。これまでの優等生的なテレビの作り方に異を唱え、自分たちの悩みを率直に語り合える広場を作り出そうとする意欲的なトーク番組である。

【企画賞 選考の理由】

「今日、解決はしないけど。」の企画制作を通して、トーク番組のテーマ選定やその伝え方に新機軸を持ち込み、広場としてのローカルテレビの可能性を示した。



左からプロデューサー・総合演出の松田望(RKK)、ディレクターの堀田結生(RKK)

なお、7月9日（火）に行われた放送文化基金賞の贈呈式では、番組に出演した糸永有希アナウンサー（RKK）の番組での進行の手腕が評価され、元 NHK・三宅アナウンサーと共に今回の贈呈式の進行役を務めました。



左から、糸永有希アナウンサー（RKK）、三宅民夫アナウンサー（元 NHK）

変化の激しい時代に生きていくことに、制作者も熊本放送も、熊本県民も戸惑っています。だからこそ、一緒に考えていけたらと思っています。そして、そのような場を提供することは、ローカル局の存在意義の一つなのではないかとも感じています。

創立71年目を迎えた熊本放送は、これからも挑戦をやめない地域の放送局として歩んでいく所存です。

本リリースの問い合わせ先

株式会社熊本放送 総務局